

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

—— 2021 年 10 月号 No.301

10 月 15 日（金）発行 ——



黄金色の晩秋 紅葉するその心は

夏にはそれほど存在感がなくても、秋から急に目立ち始めるものがあります。紅葉する葉もその一つ。

花期に植物が花を咲かせて目立たせるのは、虫たちに受粉を手伝ってもらうという大切な目的があります。

では、秋にこんなに紅葉して目立たせる意味は？

葉の紅葉というのは、特定の色素が抜けることで起こるそうですが、それにしても人の心を揺り動かすこの色合い。何らかの「意味」を考えてしまいます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（9/15～10/14） ☆☆☆



【エンソリンドウ】
リンドウ科 蝦夷竜胆
木道沿いの片隅にわずかに咲いて
いました。年々数が少なくなり、
エゾシカの食害が懸念されます。



【ミツガシワ】
ミツガシワ科 三柏
本来は初夏に咲く花です。秋の好
天が続くと、季節を勘違いするの
か、数株花をつける時があります。



【ゴキツル（実）】
ウリ科 合器蔓
ヨシなどに絡まっているつる性の
植物。よく探す必要がありますが、
見つかったと嬉しくなる実です。



【ナギナタコウシュ】
シソ科 薺刀香薷
葉に独特の香りを持つシソ科の花
です。アイヌの人たちはこの葉を
煎じてお茶にしたそうです。



【ミヤマアカネ】
トンボ科 深山茜
晩秋に姿を見せるトンボです。翅
にははっきりとした斑紋（矢印）が
あり、他の種と区別できます。



もうすぐ見られるかも！

2020年11月7日撮影

【ツルウメモドキ】 仮種皮と呼ば
れる赤い実が目を引きま。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（9/15～10/14） ☆☆☆

秋を迎えた釧路湿原。野鳥たちにとっては、渡りのシーズンでもあります。上空には「フォ、フォ、フォ、…」という鳴声とともに隊列飛行するオオハクチョウの姿も見られるようになりました。その他にも、渡りの途中の珍しい野鳥に出会えるかもしれません。



【ノゴマ】 夏鳥

ヒタキ科 野駒

夏にはあまり見かけませんでしたが、ここにきてじっくり対面できました。長い脚も特徴のひとつ。



【キビタキ】 夏鳥

ヒタキ科 黄鶯

聞き覚えのある地鳴きがしたと思ったら、樹上からつぶらな目でこちらを窺っていました。



【アカゲラ】 留鳥

キツツキ科 赤啄木鳥

今年豊作のマコミの実をおいしそうについばんでいました。赤の共演が美しい瞬間でした。

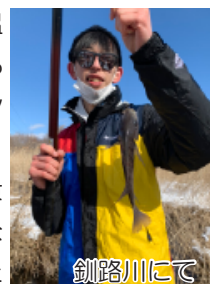
○温根内探勝木道周辺で観察された花と鳥（9月15日～10月14日）

花（和名は五十音順 *外来種）		鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）	
1 アキノウナギツカミ	23 サウギキョウ	46 ヤナギタウコギ	19 シジュウカラ
2 イヌタデ	24 シオガマギク	47 ヤナギタンポポ	20 ヒバリ
3 イヌトウバナ	25 ススキ	48 ヤマハハコ	21 ヒヨドリ
4 イヌホオズキ	26 スズメノカタビラ	49 ヨシ	22 ウグイス
5 ウシハコベ	27 セイヨウタンポポ*	1 オオハクチョウ	23 エナガ
6 ウツボグサ	28 タカアザミ	2 タンチョウ	24 メジロ
7 ウメバチソウ	29 タニソバ	3 ヤマシギ	25 コヨシキリ
8 エゾイラクサ	30 チドリケマン	4 トビ	26 ゴジュウカラ
9 エゾオオヤマハコベ	31 ツメクサ	5 ノスリ	27 キバシリ
10 エゾゴマナ	32 トウヌマゼリ	6 オジロワシ	28 ミソサザイ
11 エソトリカブト	33 ナガボノシロワレモコウ	7 チュウヒ	29 クロツグミ
12 エソノキツネアザミ	34 ナギナタコウシュ	8 コゲラ	30 ツグミ
13 エソヤマアザミ	35 ナズナ	9 オオアカゲラ	31 コマドリ（9/29 温根内初確認）
14 エソリンドウ	36 ハンゴンソウ	10 アカゲラ	32 ノゴマ
15 オオバセンキュウ	37 ヒヨドリバナ	11 クマゲラ	33 ノビタキ
16 オオヨモギ	38 ヘラバヒメジョオン*	12 ヤマゲラ	34 キビタキ
17 オトコエシ	39 ホソバアカバナ	13 モズ	35 ピンズイ
18 カタバミ	40 ミゾソバ	14 カケス	36 タヒバリ
19 クルマバナ	41 ミツガシワ（季節外れ）	15 ハシボソガラス	37 カワラヒワ
20 コウゾリナ	42 ミツバフウロ	16 ハシブトガラス	38 マヒワ
21 コガネグク	43 ミミコウモリ	17 ハシブトガラ	39 ペニマシコ
22 サラシナショウマ	44 ミミナグサ	18 ヒガラ	40 アオジ
	45 ムラサキツメクサ*		41 オオジュリン

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆ 温根内ビジターセンター アルバイトスタッフ日記② ☆☆☆

はじめまして、北海道教育大学釧路校地域の生態系研究室3年の岡部 笙といいます。6月から温根内ビジターセンターでアルバイトをしています。大学ではトンボの研究をしており、現在ある場所でトンボ相の調査をしています。そのためビジターセンターでは、木道で写真を撮ってトンボの観察をしたり、ヤゴの調査をして、トンボの知見を深めています。私は釧路出身なのですが、ここで働くまでは、釧路湿原について自然が豊かな大きい湿原というイメージしかなく、その貴重さやすごさがよくわかりませんでした。しかし、ビジターセンターで働きながら、その大きな湿原がなぜ湿原のまま保たれているのかということや、釧路湿原の特殊な成り立ちや構造、また



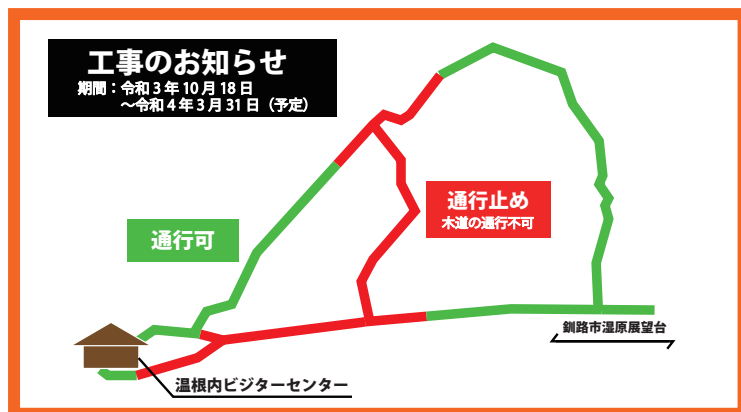
釧路川にて

そこに棲む動植物について体験的に学んでいく中で、初めて釧路湿原の貴重さやすごさを体感することができました。今では、これからももっとトンボだけでなく、釧路湿原のいろんなことについて知りたいという気持ちでいっぱいです。秋になりこれから寒くなる一方ですが、お体に気をつけて、ぜひビジターセンターに足をお運びください。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。



☆☆☆☆ 木道改修工事に伴う通行止めのお知らせ ☆☆☆☆

2021年（令和3年）10月18日（月）より、温根内の遊歩道は改修工事を行います。これに伴って、**ビジターセンターから鶴居軌道跡方面への遊歩道の利用と湿原内の木道の一部が通行できません**のでご了承ください（右図）。また、期間中は工事車両がビジターセンター周辺を通る場合もありますので、来館の際はご注意ください。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



☆☆☆ イベントのご案内（11月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪初冬の植物を見に行こう

〔日時〕11月14日（日）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター

これから厳しい冬を迎える湿原。植物たちはどのような戦略で冬を乗り切るのでしょうか。

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月28日（日）13:00～15:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕500円（材料費） 〔場所〕温根内ビジターセンター
もうすぐクリスマス。自然の素材を使ってオリジナルリースを作成しましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪初冬のキノコ講座

〔日時〕11月6日（土）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月20日（土）13:00～15:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕500円（材料費） 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～開館時間が変わります～

11月から当センターの開館時間は16時までとなります。また、16時の閉館をもってトイレもご利用できなくなりますのでご注意ください。日の入りも早くなってきております。午後からの散策には、お時間に気を留めながらお楽しみください。

月刊 温根内通信 No. 301

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料